

青年海外協力隊 水沼慶史さんがアフリカで教師として活動します

青年海外協力隊は、現在78カ国で2千723人が活動しています。平成19年度第1次隊414人が新たに出發します。この第1次隊で播磨町野添の水沼慶史さんが、アフリカ中部のザンビア共和国に、赴任することになり、出發の前に町長に表敬訪問をされました。



▲海外での活躍を期待します

第39回播磨町消防団ポンプ操法大会

6月24日(日)雨の中役場駐車場で開催しました。5月14日のポンプ操法講習会から、各分団は練習を重ね、この大会に望みました。

- 準優勝 一子北分団
操作員別優勝
指揮者 野添分団
一番員 野添分団
二番員 野添分団
三番員 野添分団



▲悪天候の中、大健闘しました

みんなの川と海をきれいにしよう！「瀬戸内川と海のクリーンアップ大作戦」を実施

6月19日(火)の午後、新島連絡協議会による島内一斉清掃に続いて新島南側護岸を大清掃しました。「瀬戸内クリーンアップ大作戦」は、瀬戸内海を囲む地域の川と海において、この時期に一斉に清掃活動を行うもので、平成5年度から数えて15回目となります。昨年は、瀬戸内沿岸約250カ所、約13万人が家庭用ゴミ袋約6万枚分のゴミを収集しました。



喜瀬川・水田川・北池で、自治会が中心となって一斉清掃

7月1日(日)、自分の住む町の水辺を美しくしようと、播磨町連合自治会による喜瀬川、水田川、北池の一斉清掃が実施されました。



▲大勢で効率よく清掃できました

活動中には、雨は降っていませんでしたが、上流で降った雨のため喜瀬川の流れが速くなっていました。ふるさと橋付近では、「川の水もきれいになればいいですね。このあたりは30年前までは群れ飛ぶホタルが見られたんですよ」と話を聞かせてくれる人もありました。「ゴミは、下流に流されたのが今日は少なめですね」と話しながら、遊歩道の草を引くなどの作業をする人もあり、清掃が終わった川岸は、緑がひととききれいに見える景色になっていました。

東播磨ふれあいネット (BAN-BANテレビ 11チャンネル) 播磨町・稲美町・加古川市・高砂市の情報番組です。

8月の放送予定 (収録場所 加古川市)

前半 8月6日(月)~19日(日)

- 特集 ご利用ください 図書宅配サービス (播磨町)
●ふれあいインフォメーション (各市町からのお知らせ)

後半 8月20日(月)~9月2日(日)

- 特集 高砂堀川再発見 Part 2 (高砂市)
●ゆうゆうライフ (稲美町)

放送時間 (第1・3月曜日の①以外は再放送) 30分番組

- 月・水・金 ①午前10時 ②午後5時 ③午後10時
火・木 ①正午 ②午後7時
土・日 ①午前9時 ②午後6時 ③午後11時

いいね! はりま

町政レポート No.7



▲スナッグゴルフの全国大会に行く子どもたちと

6月22日、教育委員さんと一緒に播磨西小学校で給食の試食をしました。「丸干し、がめ煮、ふりかけ、海苔、ご飯、牛乳」といった献立で、決して豪華な昼食ではありませんが、調理員さんの心がこもったおいしい給食でした。

コミュニティバス導入の調査研究のため、7月から播磨町地域公共交通会議を開催しますが、その検討材料として、3,000人の住民にアンケートをお願いしました。

今年も播磨町自治会連合会が中心となって、喜瀬川、水田川、北池の一斉清掃が行われました。多くの方々にご参加いただき、播磨町の水辺を美しく保つには、行政の力だけでは限界があります。

「スナッグゴルフ」という競技で県下1位となった播磨南小の4年生6人が、全国大会への出場報告に町長室に来られました。他のスポーツも得意な、とても元気な子どもたちでした。

6月24日、播磨町消防団のポンプ操法大会が開催されました。あいにくの大雨でしたが、ずぶ濡れになりながらも熱のこもった操法を競い合いました。

播磨町長 清水ひろ子

わんぱくはりまっ子



あしや かずね 芦谷 和音くん(2歳) 古田 やさしい子に育ってね パパ・ママより



このコーナーに出ただく「わんぱくはりまっ子」を募集しています。(未就学児) 広報担当まで電話を。またスナッグ写真を送ってもらってもけっこうです。

楽屋裏

町内の小学2年生と3年生が、生活科、社会科の学習の一環として、役場に来てくれました。みんな元気いっぱい。でも静かにしないといけない場所では、しっかりと列に並んで見学してくれました。最後に「質問はありますか?」と聞くと、ほとんど手が挙がりません。子どもたちは、いろいろなことに興味を持って、こちらが驚くほど細かいところまで良く見えています。第1庁舎の1階から3階を案内した私も、子どもたちと一緒に、新鮮な気持ちで、毎日過ごしている職場を見ることができました。

親子で楽しむ町内の文化財

パートII

5 野添・鹿ノ川の構

今月は、鹿ノ川にあった「構」を紹介합니다。
「構」は、中世の豪族の住まいを言います。



▲かつての中世の構を南からみる



- ① 四角い水堀があった
- ② 土塁が描かれていた
- ③ 石垣の印があった

【クイズ】
古い地図をみて、そこが確かに構であると分かった理由は次のどれでしょう。

「歴史の宝石箱」と言われている播磨町。町の面積は狭いけど、文化財の数は多く、少し歩けばそこかしこに、地域の人びとが昔から大切に受け継いできたものがあります。そのような街角の文化財を紹介していきます。

【問い合わせ】郷土資料館 ☎079(435)5000

播磨町駅から、土山駅へ昔の道を行くと、愛宕塚古墳の少し手前の野添一丁目に「急カーブ」があります。なぜか東へわずかに曲がり再び土山へ向います。実は、この「急カーブ」には深い理由があります。それは「構」をさけるために、「構」の堀の南東部分を埋めて、東へ迂回してできたカーブだからです。

この「構」の元の大きさを地図で見ると、東西60呎、南北65呎の四角形をしています。内、水堀は幅3〜4呎で、しっかりと四角形に巡っています。

その後、残りの堀も埋められ、今わずかに中世を語るのには、この構の入り口と考えられるところに祀られた「門口前の塞の神」だけです。

バベの木に隠れるようにおられる塞の神ですが、今もこの地をしっかりと守っておられます。

なお、最近の調べで、この構の住人が室町時代にこの地域を治めていた「阿江」氏ではないかといわれています。

この地域には愛宕塚古墳や無量寿院があります。ここが、古代から中世にかけての中心地だったことが分かります。



●クイズの答 ① 四角い水堀があった



町の人口 7月1日現在

(住民基本台帳人口+外国籍人口)

34,288人(+3人)

男…16,793人(+1人)

女…17,495人(+2人)

世帯数…13,221(+29)